

《J-Vision》により日本、アジアそして世界のリーディング・ユニバーシティへ

建学の精神
学問による人間形成

大学の理念
「社会が発展するために必要とされる人材を育成することによって、
人類の福祉に貢献すること」

ミッション・ステートメント

グローバル化、ICT等の技術革命、少子高齢化等社会構造が激変
する中で、人類社会の課題解決に資する革新的発想と国際社会
への深い理解を持つ人材が求められている。本学は、学生一人ひ
とりの個性に着目した丁寧できめ細かい指導と世界の中の日本を
明確に位置つけた教育を通じ、日本そして世界に貢献する人材の
育成を目指す。

《J-Vision》により日本、アジアそして世界のリーディング・ユニバーシティへ

| | | | | | | | |
|---------------------|---|--|---|--|---|--|---|
| <p>7つの ビジョン</p> | <p>豊かな人間性の 涵養と社会に有 為な人材育成</p> | <p>国際性と日本文 化を身につけた グローバル人材 の育成</p> | <p>教育力の持続的 向上と地域・世 界と直結した連 携教育の強化</p> | <p>研究力強化とイ ノベーションの推 進</p> | <p>キャンパス環境 の充実とグロー バル化・ネット ワーク化</p> | <p>教育、研究、社 会貢献のダイナ ミックな展開を支 える経営基盤の 確立</p> | <p>発信力強化と社 会的存在価値の さらなる向上</p> |
| <p>戦略</p> | <p>「建学の精神」に 則った教育・研 究の展開、水田 三喜男記念館の 設置・活用を通じ た自学研究の確 立・展開、本学を 特色づける道德 観を育むための リベラルアーツ 教育の充実、社 会人としての教 養・礼儀・公共性 及び実務能力の 育成、キャリア形 成支援を通じた 領域をまたぐ高 度な知識、技能 力を持つ職業人 の育成、産学連 携・国際連携を 活かして高度専 門職業人を養成 するポスト・グラ デュエート教育 の充実・強化、 文化・スポーツ 教育・課外活動 による人間力の 育成を通じて、 豊かな人間性の 涵養と社会に有 為な人材育成を 目指す。</p> | <p>異文化と日本文 化をともに理解 する「世界の中 の日本」プログラ ムの充実・強化、 「世界から学 ぶ」、「世界とと もに学ぶ」プログラ ムの創設、展 開、グローバル カレッジの拡充・ 強化、多言語・ 多文化の理解に 基づくグローバ ル人材の育成、 国際交流の拡 大・充実、特に留 学促進・受入拡 大と留学生教育 の充実、国際的 女性リーダー育 成を通じて、グ ローバル人材の 育成を目指す。</p> | <p>社会の要請に基 づく資格・キャリ ア形成に結びつ く講義・教育手法 の充実、学生一 人ひとりの目指 す進路・就職の 実現に向けた取 組み強化、e- learningの充実・ 強化、エクステ ンション・プログラ ムの充実・強化、 企業・地域・他大 学・海外協定校 等との連携およ び海外拠点の活 用による教育内 容の充実、寄付 講座の充実によ り、教育力の持 続的向上と連携 教育の強化を目 ざす。</p> | <p>情報技術の進化 と社会の変革・ 変容をとらえて 未来社会の在り 方を考える advanced humanitiesの展 開、人類社会が 当面する課題の 解決に資する interdisciplinary science, practical science の推進と advanced humanitiesとの 融合、学生の研 究活動参加を積 極的に推進、国 際的なネットワ ークを活用した本 学を特色づける 研究領域の確 立、外部資金の 獲得および企業 との連携研究の 推進により、研 究力強化とイノ ベーションの推 進を目指す。</p> | <p>学生が集い多様 な交流・発表の 場を築くレジデ ンシャル・キャン パス化の推進、紀 尾井町キャンパ スのグローバル 化、生涯学習・ 連携教育・産学 連携の拠点化、 地域コミュニティ に開かれたグ リーンキャンパス の実現、教育・ 研究施設の拡充 整備、情報通信 技術の高度利用 とキャンパス間 ネットワークの充 実により、キャン パス環境の充実 とグローバル 化、ネットワー ク化を図る。</p> | <p>安定した収益基 盤の確保、大学 院の充実と教 育・研究組織の 見直し・再編、学 内連携の強化、 経営を支える組 織整備とガバナ ンスの強化、職 員の戦略的配 置・育成・国際化 を支える人的基 盤の強化、適正 性・効率性の担 保に資する業務 システムにより、 ダイナミックな展 開を支える経営 基盤を確立す る。</p> | <p>本学と地域が保 有するヘリテー ジを活用した発 信力強化、教育 研究活動成果の 可視化をはかる ための体制構 築、多様なチャ ネルによる発信 強化と学術貢 献、本学の特色 を活かした広報・ ブランド戦略、同 窓会・父母後援 会との連携強 化、スポーツ・健 康活躍社会づく り等社会・地域と の交流・貢献、 地域の国際交流 活動への支援に より、発信力強 化と社会的存在 価値のさらなる 向上を目指す。</p> |